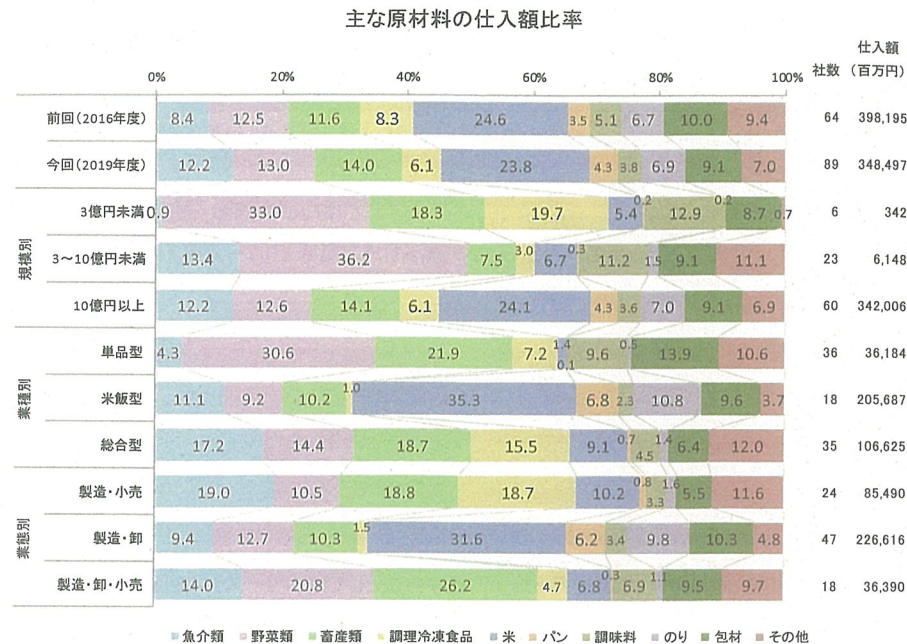


7. 原材料の仕入状況

① 主な原材料の仕入額



原材料費(有効回答 89社、3,484億9,700万円)を100%とした場合の主な原材料の仕入れ額比率は、「米」が23.8%と最も高く、次いで「畜産類」14.0%、「野菜類」13.0%、「魚介類」12.2%、「包材」9.1%、「のり」6.9%、「調理冷凍食品」6.1%、「パン」4.3%、「調味料」3.8%の順となっている(「その他」を除く)。

規模別で仕入れ額比率が高い原材料をみると、3億円未満および3~10億円未満は「野菜類」(3億円未満33.0%、3~10億円未満36.2%)、10億円以上は「米」(24.1%)であった。「魚介類」「野菜類」「畜産類」の主要3原料の合計割合をみると、3億円未満52.2%、3~10億円未満57.1%、10億円以上38.9%となっている。

業種別の仕入れ額比率が高い原材料は、単品型で「野菜類」(30.6%)、米飯型は「米」(35.3%)、総合型は「畜産類」18.7%となっているが、総合型は各原材料品目の割合が均衡している。主要3原料の合計割合は、単品型56.8%、米飯型30.5%、総合型50.3%となっている。

業態別の仕入れ額比率が高い原材料は、製造・小売が「魚介類」19.0%、製造・卸が「米」31.6%、製造・卸・小売が「畜産類」26.2%となっている。主要3原料の合計割合は、製造・小売48.3%、製造・卸32.4%、製造・卸・小売61.0%で、製造・卸・小売の割合が大きい。

② 原材料の国産品の比率(仕入数量)

原材料の国産品の比率分布

	企業数	(上段:社) (下段:%)							平均仕入額 (百万円)	平均仕入額 対象社数
		0%	~20% 未満	20~40% 未満	40~60% 未満	60~80% 未満	80~100% 未満	100%		
魚介類	83	15 18.1	17 20.5	29 34.9	8 9.6	4 4.8	3 3.6	7 8.4	163.7	71
野菜類	103		7 6.8	8 7.8	18 17.5	11 10.7	38 36.9	21 20.4	400.7	89
米	61	3 4.9					4 6.6	54 88.5	1,478.2	56
畜産類	89	14 15.7	26 29.2	18 20.2	8 9.0	9 10.1	7 7.9	7 7.9	31.5	90
調理冷凍食品	67	4 6.0	14 20.9	12 17.9	16 23.9	8 11.9	4 6.0	9 13.4	135.8	59

注1)上記表の社数及び構成比は、対象原材料に対する国産品の仕入れ額割合
注2)平均仕入額は惣菜売上高、収支状況の原材料費の割合、各原材料の仕入割合、各原材料の国産品と輸入品の割合で回答があった企業を対象とし加重平均で算出

対象 83社の「魚介類」原材料の国産品比率で多いのは、「20~40%未満」34.9%(29社)で、次いで「~20%未満」20.5%(17社)、「0%」18.1%(15社)の順となっており、「40%未満」が7割以上を占める。惣菜売上高、原材料費の割合、原材料の仕入割合、原材料の国産品と輸入品の割合全てで回答があった有効回答71社の平均仕入額は1億6,370万円となっている。

対象 103社の「野菜類」原材料の国産品比率で多いのは、「80~100%未満」36.9%(38社)で、次に「100%」20.4%(21社)、「40~60%未満」17.5%(18社)で、「80%以上」で6割近くを占めている。有効回答89社の平均仕入額は4億70万円となっている。

対象 61社の「米」原材料の国産品比率で多いのは、「100%」88.5%(54社)で、ほか「80~100%未満」6.6%(4社)、「0%」4.9%(3社)となっており、「80%以上」で9割を超えている。有効回答56社の平均仕入額は14億7,820万円である。

対象 89社の「畜産類」原材料の国産品比率で多いのは、「~20%未満」29.2%(26社)で、次に「20~40%未満」20.2%(18社)、「0%」15.7%(14社)と続き、「40%未満」で6割以上を占めている。有効回答90社の平均仕入額は3,150万円となっている。

対象 67社の「調理冷凍食品」原材料の国産品比率で多いのは、「40~60%未満」23.9%(16社)で、次に「~20%未満」20.9%(14社)、「20~40%未満」17.9%(12社)と続いている。有効回答59社の平均仕入額は1億3,580万円である。